

みやしんと地域社会 ～創ります“夢あるあした”～

当金庫の地域経済活性化への取り組みについて

当金庫は、岳南地域（富士宮市・富士市）を主な事業区域とし、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

昭和8年創業以来地域金融機関として、信用金庫の経営理念を忠実に守り、地元のお客さまからお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

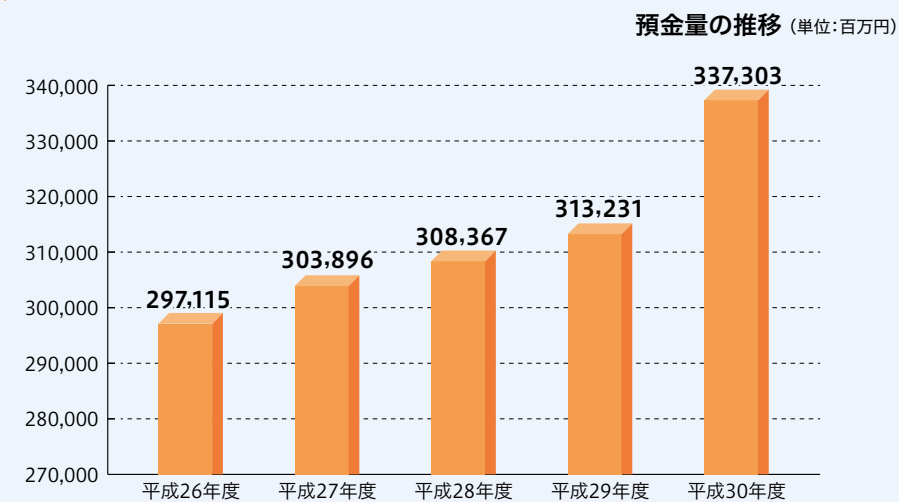
今期の決算について

地域経済の環境が引き続き厳しいなかで、4億30百万円の当期純利益を計上しました。今後も積極的な業務展開と安定的な収益確保「安心と信頼」の更なる向上に努めます。なお金融機関の健全性を示す指標である自己資本比率は、25.55%となり、国内業務を行なう金融機関に課せられた基準である4%の6倍以上となっています。

■ お客さまの預金について

預金積金残高
3,373億3百万円

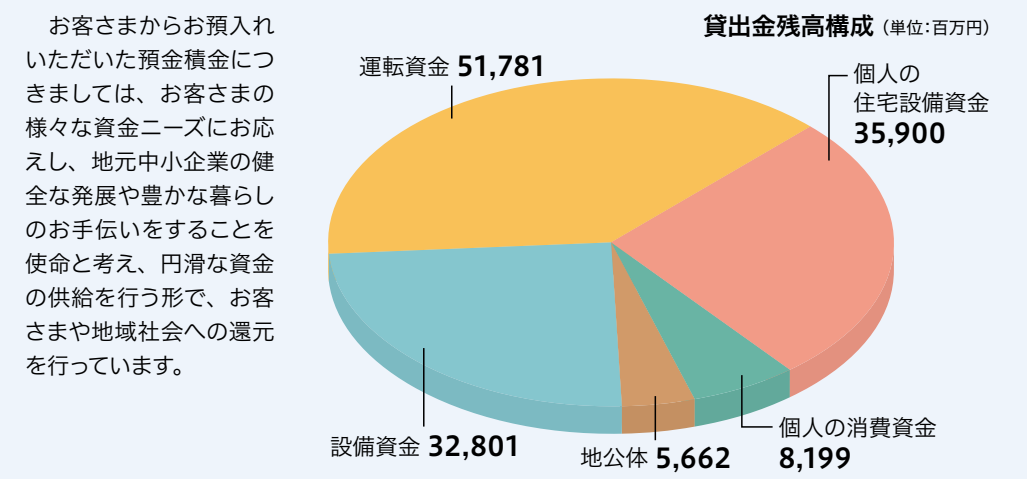
当金庫の平成30年度の預金積金残高は3,373億3百万円です。お客さまからお預かりした大切な預金は、みなさまから信頼をいただいている証です。



■ 地域のお客さまへのご融資について

貸出金残高
1,343億44百万円

預金積金に占める貸出金の割合
39.82%

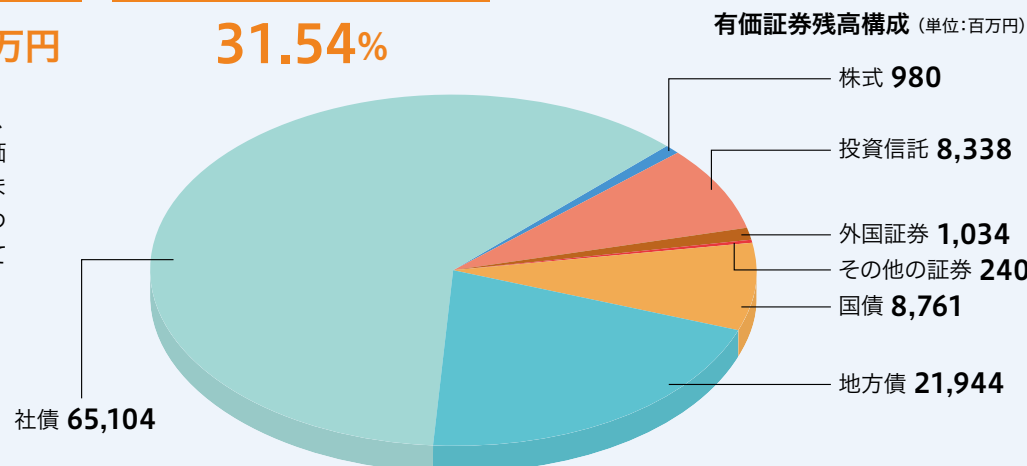


■ ご融資以外の運用について

有価証券残高
1,064億4百万円

預金積金に占める有価証券の割合
31.54%

当金庫はお客さまの預金を、ご融資による運用の他に有価証券による運用も行っています。なお、有価証券の運用については、安全性第一を心掛けています。



■ 地域の中小企業へのご支援について

私達を取巻く厳しい経営環境のなか、当金庫は営業店と融資部顧客支援課が連携して地元お取引先企業の経営改善の取り組みを積極的にご支援しています。今後も地域金融機関としてお取引先企業個々の問題解決に結びつきめ細かな取り組みを行い、地域経済の活性化に向けた事業支援活動を行ってまいります。

当金庫では、企業の経営者のみなさまとともに経営計画の作成、実行に参画し、企業の技術力や将来性、財務内容等を今まで以上に的確に把握できるよう、外部支援機関等との連携体制を構築しています。

～事業性評価への取り組み状況～

当金庫では、地域社会・地域経済への発展に貢献するための取り組み内容を自己評価するとともに、お客さまへ分かりやすくお伝えする「金融仲介機能のベンチマーク」の指標を活用しています。

左記指標の一つである事業性評価は、お客さまの強み・課題を対話の中で共有し、事業の内容や成長の可能性を適切に評価することです。共有した課題解決の方法としては、売り上げ増加などの本業支援とご融資などの金融支援があります。

■ 事業性評価への取り組み

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業性評価を実施した先数	58	126	112

■ 事業性評価に基づいたご融資への取り組み

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業性評価に基づくご融資の件数	12	21	160
事業性評価に基づくご融資の金額(単位:百万円)	418	588	8,458